1 火災発生状況

(1) 概要

令和6年の出火件数192件で、前年の178件に比べて14件増加し、出火率(人口1万人当た りの出火件数)は1.88となり、前年の1.73に比べて0.15ポイント増加した。また、県内で火 災が1日当たり約0.53件発生している計算になる。

過去10年間の出火件数・出火率の推移については、以下のとおりである。

表 1 月別出火件数

									総						
	月 別 出 火 件 数										出火	出火	死 者		
区分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	八件数	/ 率	数
令和6年	16	10	30	16	15	23	15	9	12	21	10	15	192	1.88	18
令和5年	16	11	24	16	15	19	6	16	15	10	11	19	178	1.73	21
増減件数	0	$\triangle 1$	6	0	0	4	9	△ 7	△ 3	11	\triangle 1	\triangle 4	14	0.15	\triangle 3
増減率(%)	0.0	△ 9.1	25.0	0.0	0.0	21.1	150.0	△ 43.8	△ 20.0	110.0	△ 9.1	△ 21.1	7.9	_	△ 14.3
令和4年	19	8	13	12	16	13	10	8	14	16	9	16	154	1.48	16
令和3年	16	14	16	25	15	11	10	11	9	11	10	20	168	1.60	10
令和2年	14	11	12	21	18	16	21	16	11	9	13	10	172	1.63	14
令和元年	22	13	22	26	25	10	7	17	15	9	15	9	190	1.79	17
平成30年	13	17	14	17	15	9	11	23	12	13	10	16	170	1.59	13
平成29年	15	16	26	17	15	19	14	12	10	19	9	12	184	1.71	17
平成28年	11	16	26	23	23	12	13	17	9	16	10	19	195	1.81	14
平成27年	19	20	20	18	19	7	17	11	12	21	14	10	188	1.74	14
平成26年	23	14	20	25	19	10	15	22	13	18	18	22	219	2.01	22

図-1 過去の出火件数・出火率の推移

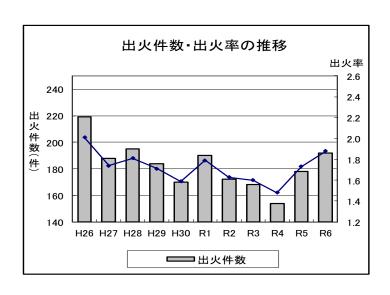
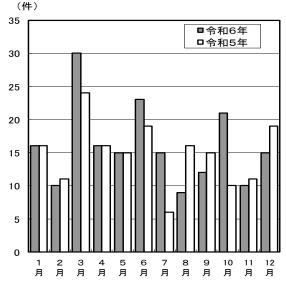


図-2 月別出火件数(令和6年、令和5年)



(2) 市町村別及び火災種別の出火件数

市町村別にみると、前年に比べ件数が増加しているのは7市町、減少しているのは6市町、前年と同数は2市村となっている。

火災種別にみると、建物火災148件(前年124件)、林野火災0件(同2件)、車両火災24件(同29件)、船舶火災1件(同0件)、その他火災19件(同23件)であり、航空機火災は発生しなかった。なお、前年と比べて増加した火災種別は、建物火災(+24件)、船舶火災(+1件)だった。減少したのは、林野火災(\triangle 2件)、車両火災(\triangle 5件)、その他火災(\triangle 4件)だった。

2 火災の実態

(1) 主な出火原因 ※取扱注意

主な出火原因の第1位は、「電灯配線」20件であり、以下「電気機器」18件、「ストーブ」15件、「放火」14件・「こんろ」9件となっている。

表2 主な出火原因(「その他」、「不明・調査中」は除く)

次									
令和6年		令和5年		令和 4 年		令和3年		令和2年	
(出火件数192件)		(出火件数178件)		(出火件数154件)		(出火件数168件)		(出火件数172件)	
原因	件数	原因	件数	原因	件数	原因	件数	原因	件数
1電灯配線	20	①たばこ	15	①ストーブ	14	①電気機器	12	①電気機器	15
②電気機器	18	②放火	13	②たばこ	11	放火の疑い	12	②放火	14
③ストーブ	15	③電灯配線	12	放火	11	③火入れ	11	③電灯配線	12
④放火	14	④こんろ	10	④電灯配線	8	④ たばこ	10	④たばこ	10
⑤こんろ	9	電気機器	10	⑤電気装置	7	ストーブ	10	ストーブ	10

電気機器:電化製品の誤使用や故障等により火災につながったもの

電灯配線:電気コードやコンピューター配線の破損、たこ足配線等により火災につながったもの

配線器具:コンセントプラグやテーブルタップの劣化などにより火災につながったもの

※ 令和6年の出火原因は、変更の可能性がある。

(2) 火災による死傷者数

火災による死者数は18人で、前年の21人に比べ3人減少となっている。 また、負傷者は51人で、前年の32人に比べ19人増加となっている。

表3 年齢層別死者数・負傷者数

区分	乳幼児 (0歳~5歳)	少年及び成人 (6歳~64歳)	高齢者 (65歳以上)	死者合計	負傷者
令和6年	0(0)	3(3)	15(1)	18 (4)	51
令和5年	0(0)	8(4)	13(1)	21 (5)	32
比較増減	0(0)	$\triangle 5(\triangle 1)$	2(0)	$\triangle 3(\triangle 1)$	19

^{※()}書きは内数で放火自殺者

表 4 男女別死者数

	70 H 20		
区八	死 者		
区分	a + b	自殺者 a	逃げ遅れなどb
令和6年	18 (男13、女5)	4 (男3、女1)	14 (男10、女4)
令和5年	21 (男10、女11)	5 (男1、女4)	16 (男9、女7)
比較増減	$\triangle 3$	△1	$\triangle 2$